

# フランス バロック音楽の 栄華

## Vol.2

### パリで活躍した音楽家たち

白井美穂

フラウト・トラヴェルソ

小池香織

ヴィオラ・ダ・ガンバ

新井道代

フラウト・トラヴェルソ

曽根田駿

チェンバロ

#### Program

J.-M. ルクレール

音楽の愉しみ 第2番 ト短調 作品8

トリオ・ソナタ ニ長調 作品2-8

M. ブラヴェ

フルートと通奏低音のためのソナタ ニ短調 作品2-2

フルートと通奏低音のためのソナタ ロ短調 作品3-2

A. フォルクレ

ヴィオール曲集 第5組曲 ハ短調より

他

2025 **12/20** SAT  
14:00 Open 14:30 Start

入場料 全自由席 **4,000** 円 (当日 4,500 円)

会場 **今井館聖書講堂**

チケット取り扱い

tiget

<https://tiget.net/events/421569>

お問い合わせ (コンサート事務局)

officebaroqueflutes@gmail.com



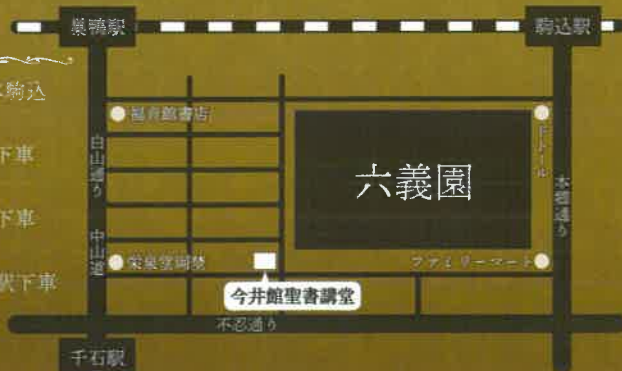
#### アクセス

東京都文京区本駒込  
6-11-15

山手線駒込駅下車  
徒歩11分

南北線駒込駅下車  
徒歩8分

都営三田線千石駅下車  
徒歩5分





# フランス バロック音楽の 栄華 Vol.2 パリで活躍した音楽家たち

## 名手達の時代

本年3月に行われた「フランス・バロック音楽の栄華Vol.1」では、「ヴェルサイユ・ピッチで奏でるフランス・バロック音楽」と題して、オテールやマレの作品をお届けしました。その続編となる今回の演奏会では、音楽を愛し、その趣味をも厳しく統率していたルイ14世の没後、ルイ15世の治世となった時代の音楽をお届けします。ルイ15世は、前王に続きヴェルサイユ宮殿を政治の舞台としていたものの、音楽よりも他の分野に大きな関心を示し、音楽にかかる予算は削減されました。一方でパリの街は発展し、音楽も含めた文化活動が活発になります。そのような時代に活躍したのが、今回の演奏会に登場するフルートのミシェル・ブラヴェ、ヴァイオリンのジャン＝マリー・ルクレールといった名手達でした。

## 趣味の融合

ブラヴェやルクレールはパリで1725年に始まった公開演奏会シリーズ「コンセール・スピリチュエル」に度々登場し、その妙技で観客を魅了しました。この頃、フランスの音楽の様式は大きな変化の時を迎えていました。ルイ14世の生前にはその威光によって厳しく守られていたフランスの伝統的な様式に、イタリア音楽の様式を融合させるという流れが加速したのです。フランス音楽が元々持っていたアンニュイな雰囲気と、イタリア音楽の技巧性、華やかさの融合がこの時代のフランス音楽の魅力と言えるでしょう。本公演では、ブラヴェが出版した、一つはフランス様式がより強く、もう一つはイタリア様式がより強い2冊のソナタ集から、それぞれ1曲ずつを取り上げて演奏し、その違いと魅力を聞き比べて頂きます。



## 白井美穂 (フラウト・トラヴェルソ)

名古屋芸術大学を首席で卒業後、ロベルト・シューマン音楽大学を最優秀で卒業。ディプロマ取得後、同大学室内楽科で最優秀賞を受賞。DAAD（ドイツ学術交流会）、ドイツメニューイン音楽財団の奨学生。フォルクヴァング芸術大学、フランクフルト舞台・芸術大学古楽科のマスター過程を終了。リリースしたCDが2023年「今月の特選盤」に選出。在独中、ブリュージュやユトレヒトの古楽フェスティバルに出演。2023年に活動拠点を東京に移し、後進指導と演奏活動を行う。ドイツ語ではドイツ語技能検定C2（母国語レベル）を所持し、翻訳、通訳活動にも従事。名古屋で「バロック音楽講座」を主催し、定期的にレッスンを実施。2024年にはカール・カイザー著「バロック音楽の基礎知識」、アンニャ・トーマン著「フラウト・トラヴェルソの練習帳」を日本語翻訳し出版。現在、フルート専門誌「THE FLUTE」にバロック音楽とフラウト・トラヴェルソに関する連載を寄稿中。東海バロックプロジェクトメンバー。

【白井美穂オフィシャルウェブサイト】

<https://www.mihoshirai.com>

## 新井道代 (フラウト・トラヴェルソ)

東京音楽大学を経て同大学院フルート専攻修了。大学院修士論文「モダンフルートにおけるバロック音楽演奏について」は日本フルート協会会報に掲載された。同大学にて1年助手を務めた後、オランダ、デン・ハーグ王立音楽院古楽科フラウト・トラヴェルソ専攻に留学。同音楽院修士課程を修了し、帰国後は、バロックを中心に様々な時代のフルートで演奏活動を行っている。主な参加CDに、バッハ・コレギウム・ジャパン「J.S. バッハ/マタイ受難曲」等。2023年にはWAONレコードより「ハイドン/6つのディヴェルティメント」がリリースされた。また、トラヴェルソのワークショップを開催する等、トラヴェルソを身近に感じてもらうための活動を続けている。トラヴェルソを前田り子、バルトルド・クイケン、ウィルバート・ハーツェルフェットの各氏に師事。現在、主宰教室（所沢）及びアイゼナハ音楽院フルート、フラウト・トラヴェルソ講師。

【新井道代オフィシャルウェブサイト】

<http://www.michiyoarai.net/>

## 小池香織 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

東海大学大学院芸術学研究科修士課程修了。2005年、ドイツ・シュトゥットガルト国際バッハアカデミー音楽祭のオーディションに合格し渡独。ドイツ国立ブレーメン芸術大学古楽科修了。在学中からヨーロッパ各地で演奏活動を行い、受難曲、カンタータ、オラトリオ等でソリスト、通奏低音奏者として招かれ多数の演奏会に出演し研鑽を積む。2007、2008年にはロンドン王立音楽大学へ研修生として渡英。2009年、ソリスト・ディプロム及び国家演奏家資格を取得。2010年、拠点を日本に移し演奏活動を行う傍ら、日本とヨーロッパを行き来し、ドイツ、イタリアなど数々の国際音楽祭に招聘されている。2017年、ソロCD「バッハ・メヴィオラ・ダ・ガンバ」を、2021年には「テレマン・メヴィオラ・ダ・ガンバ」をリリースし、読売新聞サウンスBOX推薦盤、音楽現代推薦盤、朝日新聞 for your Collection に選出され好評を博す。近年は後進の指導にも力を入れ、定評のあるレッスンを行っている。

【小池香織オフィシャルウェブサイト】

<https://kaorikoike-violadagamba.mystrikingly.com>

## 曽根田駿 (チェンバロ)

愛媛県出身。東京芸術大学音楽学部器楽科チェンバロ専攻卒業。2015年より渡仏し、リヨン国立高等音楽院のチェンバロ専攻、古楽ハープ専攻それぞれの演奏家ディプロマを取得。2020年に同校のチェンバロ（通奏低音/コレペティ）専攻修士課程修了後、完全帰国した。2020年度フランス音楽芸術著作権管理協会アダミADAMIより奨学金を受ける。

現在は中島恵美とのデュオ「イ・フィラトリー・ディ・ムジカ」を中心に活動し、2023年には1st CDアルバム「スプレッツァトゥーラ」をリリース。レッスン、様々なイベントを通じて歴史的演奏法の魅力を発信するべく活動しているほか、各楽器のソロ奏者、アンサンブル奏者として様々な古楽アンサンブルとも共演している。また、2024～2025年度の聖グレゴリオの家宗教音楽研究所古楽科講座「音楽語法の実践」では即興の講師を務める。

【曽根田駿オフィシャルウェブサイト】

<https://www.i-filatori-di-musica.com/>